

## 北九州港港湾脱炭素化推進協議会 特別講演会 を開催

～ 豪州クィーンズランド州政府のカーボンニュートラル推進の取組 ～

北九州市では、国際物流の結節点かつ産業拠点である北九州港において、温室効果ガスの排出を全体としてゼロにすることを旨とする「カーボンニュートラルポート（CNP）」の形成を推進しており、令和5年3月に、企業、団体、官公庁で構成する「北九州港港湾脱炭素化推進協議会」を設置し、CNP形成に向けた検討を進めています。

この度、グリーン水素等の製造を脱炭素化の重要施策として取り組んでいる豪州クィーンズランド州政府を本市にお招きして、北九州港港湾脱炭素化推進協議会の構成員に対して、州政府のカーボンニュートラルに関する取組についてご講演を頂きます。

1 日 時 令和5年11月29日（水）15：30～17：30

2 場 所 北九州国際会議場 国際会議室  
（北九州市小倉北区浅野3丁目9-30）

3 次 第 別紙1のとおり

4 構成員名簿 別紙2のとおり

5 豪州クィーンズランド州について 別紙3のとおり

6 その他

- ・協議会構成員対象の講演会のため、一般聴講席はございませんが、報道関係者のみ傍聴及び撮影が可能です。
- ・取材場所の確保のため、取材をご希望の場合は、『別紙4』により、11月28日（火）15時までにお申し込みをお願いします。



### 【問い合わせ先】

<カーボンニュートラルポート（CNP）に関すること>

北九州市 港湾空港局 計画課 井上（課長）、足立（係長）  
（直通）093-321-5967（FAX）093-321-5915

<北九州市全体の脱炭素化に関すること>

北九州市 環境局 グリーン成長推進課 渡辺（課長）  
（直通）093-582-2286



北九州港湾脱炭素化推進協議会 特別講演会  
～ 豪州クィーンズランド州政府のカーボンニュートラル推進の取組 ～

次 第

日 時： 令和5年11月29日(水)15:30～17:30

場 所： 北九州国際会議場 国際会議室

1. 開 会

2. 講 演

2-1. 『豪州クィーンズランド州の概要』

(豪州クィーンズランド州政府駐日事務所:安達 健 氏)

2-2. “Queensland’s Decarbonisation Agenda”

『クィーンズランド州の脱炭素化の道のり』

(豪州クィーンズランド州政府貿易・投資局:Michelle Matthews 氏)

2-3. “Fortescue Green ammonia and hydrogen Strategy from Queensland”

『クィーンズランド州におけるフォーテスキューのグリーンアンモニアおよび水素戦略』

(Fortescue:Cameron Smith 氏)

2-4. 『JPOWERのブルーカーボン、ブルーインフラの取組み

～北九州からQueenslandへの展開～』

(電源開発株式会社:鍵本 広之 氏)

3. 閉 会

ゼロ・カーボン会議

本特別講演会は、協議会の構成員であり、北九州港においてブルーインフラ<sup>※1</sup>整備の取組を推進している電源開発株式会社の協力のもと、『ゼロ・カーボン会議』として開催します。

電源開発株式会社が北九州市内の事業所に設置したブロックによる藻場造成プロジェクトで生じたCO<sub>2</sub>吸収量に対して、認証を受けているJブルークレジット<sup>※2</sup>で特別講演会の開催に伴い発生するCO<sub>2</sub>排出量をオフセット(埋め合わせ)することで、本特別講演会の開催に伴い発生するCO<sub>2</sub>排出量を実質ゼロとします。

※1 ブルーインフラ：藻場・干潟等及び生物共生型港湾構造物

※2 Jブルークレジット：海域の生態系によって吸収・貯留される炭素(ブルーカーボン)を定量化して取引可能なクレジットとしたもの

## 北九州港湾脱炭素化推進協議会 構成員名簿

(五十音順)

## 【企業】

株式会社 IHI  
 伊藤忠商事株式会社  
 岩谷産業株式会社  
 UBE 三菱セメント株式会社  
 ENEOS 株式会社  
 オーシャントランス株式会社  
 川崎重工業株式会社  
 北九州エル・エヌ・ジー株式会社  
 株式会社北九州パワー  
 九州電力株式会社  
 九電みらいエナジー株式会社  
 西部ガス株式会社  
 山九株式会社  
 シーメンス・エナジー株式会社  
 ジャパンハイドロ株式会社  
 株式会社商船三井  
 商船三井テクノトレード株式会社  
 住友商事九州株式会社  
 大陽日酸株式会社  
 鶴丸海運株式会社  
 電源開発株式会社  
 東京九州フェリー株式会社  
 東芝エネルギーシステムズ株式会社  
 トヨフジ海運株式会社  
 日鉄エンジニアリング株式会社  
 日鉄ケミカル&マテリアル株式会社  
 日鉄高炉セメント株式会社  
 日本コークス工業株式会社  
 株式会社日本政策投資銀行  
 日本製鉄株式会社  
 日本通運株式会社  
 日本郵船株式会社  
 阪九フェリー株式会社  
 ひびきエル・エヌ・ジー株式会社  
 ひびき灘開発株式会社  
 株式会社響灘火力発電所

福岡酸素株式会社  
 富士電機株式会社  
 株式会社ブリヂストン  
 株式会社北拓  
 松山・小倉フェリー株式会社  
 マルエーフェリー株式会社  
 株式会社三井 E&S マシナリー  
 三井物産株式会社  
 三菱ケミカル株式会社  
 三菱重工グループ  
 (三菱重工(株)・三菱ロジスネクスト(株))  
 三菱マテリアル株式会社  
 株式会社名門大洋フェリー  
 安川オートメーション・ドライブ株式会社

## 【協会】

関門港運協会  
 小倉地区港運協会  
 洞海港運協会  
 福岡県倉庫協会  
 福岡県トラック協会  
 八幡港友会

## 【官公庁】

九州運輸局  
 九州経済産業局  
 九州地方整備局  
 北九州市

(59団体)

## 【事務局】

北九州市港湾空港局港湾整備部計画課  
 北九州市環境局グリーン成長推進部  
 グリーン成長推進課

## 豪州クィーンズランド州について

### 1. 豪州クィーンズランド州政府と北九州市の繋がり

北九州港では、カーボンニュートラルポート（CNP）の形成を目指して、港湾機能の高度化や、水素等の受入環境の整備など様々な検討を進めている。

その検討の一環として、北九州市は、グリーン水素等の製造を脱炭素化の重要施策として取り組んでいる豪州クィーンズランド州政府と、水素等のサプライチェーン構築等に向けた意見交換を実施してきている。

### 2. 豪州クィーンズランド州の概要

- ・豪州北東部に位置。
- ・面積は日本国土の約 4.5 倍（約 1,853,000km<sup>2</sup>）。
- ・人口約 541 万人。
- ・主要産業は鉱業（石炭輸出）。
- ・州最大の港であるグラッドストーン港の石炭輸出量は世界第 4 位である。



### 3. 脱炭素化に関する取組

- ・2019年に「クィーンズランド州水素戦略」を発表し、再エネ及びGX関連の産業集積を州の重要施策として位置づけている。
- ・2032年夏のブリスベンオリンピック開催までに、再エネ導入比率を80%する目標を掲げている。
- ・主に太陽光発電の再生可能エネルギー由来の電力を用いたグリーン水素やグリーンアンモニアの製造に力を入れており、州政府は水素製造のインフラ整備に補助金を導入。
- ・持続可能な航空燃料(SAF)や船舶燃料の原料となる非可食植物(ポンガミア)の商用化に向けた取組も進めている。
- ・日本のブルーインフラに関する技術や知識に高い関心を示している。

### 4. 講演者

所属	役職	名前
豪州クィーンズランド州政府 貿易・投資庁	ディレクター	Michelle Matthews (ミッシェル マッシュューズ)
豪州クィーンズランド州政府 駐日事務所	駐日北東アジア統括代表	安達 健 (あだち たけし)
Fortescue <sup>※1</sup>	水素生産システム部 部長	Cameron Smith (キャメロン・スミス)
電源開発(株) <sup>※2</sup>	火力エネルギー部 若松総合事務所 所長補佐 兼 土木建築部 シニアエキスパート	鍵本 広之 (かぎもと ひろゆき)

※1：グリーン水素の製造等に関する豪州クィーンズランド州政府のパートナーシップ企業

※2：豪州クィーンズランド州政府とのブルーインフラ等に関する連携企業

